

町長一般経過報告

第4回広野町議会定例会

“日本一元気な町づくり” ふる里復興・創生「草創の年」 —いのちを守り、人を活かし・未来をつくる町—

令和4年度第4回広野町議会定例会が12月15日から16日までの会期で開催されました。一般質問を経て議案審議がなされ、すべての議案が原案どおり可決されました。

会期初日には、遠藤町長が第3回定例会（9月開催）以降の町政経過報告を行いました。町民のみなさんにお伝えしたいことがたくさん盛り込まれていますので、主な内容の抜粋を掲載します。



遠藤町長

新型コロナウイルス感染症対策本部

オミクロン株対応ワクチン（2価ワクチン）の接種につきましては、10月29日から約4,000人を対象に集団接種により実施し、12月24日に接種完了する計画で取り組みます。

今後も新型コロナウイルス感染症における国、県の動向、感染状況等を注視し、対策本部会議において適時、適切な対応に取り組みます。

総務課

9月17日、JR広野駅及び駅周辺にて、広野町環境美化推進協議会をはじめ、広野町婦人会、町内企業、JR東日本、町職員など約80人の参加をいただき、広野駅環境美化活動を実施しました。

9月18日、行政区長会議を開催し、新型コロナウイルス感染症対策並びに令和4年度における町の重点事業の進捗状況と要望の対応について説明を行いました。行政区長の皆様からいただいた貴重な意見を施策に反映し取り組んでいきます。

10月9日、生活環境の美化と保全、地域コミュニティ再生を

目的とした行政区クリーンアップ作戦を実施しました。町民の皆様には多数ご参加いただき、町内各地の環境美化に取り組みました。



行政区クリーンアップ作戦の様子

10月13日告示、30日投票の日程で第22回福島県知事選挙が執行されました。新型コロナウイルス感染症防止対策を講じるとともに、投票率向上に向け街頭における投票呼びかけ、防災行政無線及び広報車による定期的な広報活動を行いました。投票率は49.95%となりました。

また、10月20日告示、30日投票の日程で執行された福島県議会議員補欠選挙におきましては、無投票となりました。

復興企画課

10月8日、兵庫県たつの市

の高校生や企業の取り組み・活動の紹介があり、福島復興の未来創造への取組について意見交換しました。

町民税務課

マイナンバーカード普及促進事業は、申請受付等の機会を増やすため、毎週火曜日午後7時まで窓口時間を延長し、申請業務委託によりスタッフの増員を図りながら、毎月2回日曜日の役場開庁、11月には町内8箇所の地区集会所での出張申請に加え、12月以降はマイナンバーカード未申請者を対象に、自宅訪問サービスを展開しています。

令和4年12月4日現在、本町におけるマイナンバーカードの申請率は、69.8%であり、県平均は63.4%、全国平均は



秋まつり参加者へのマイナンバーカード周知活動

こども家庭課

10月1日、昨年に引き続き、多くの子どもたちにインフルエンザ予防接種を受けていただくため、接種費用全額補助の申請受付を開始しました。11月末現在の申請件数は、76件となっています。

11月8日、広野こども園にお

健康福祉課

12月5日、民生児童委員の一斉改選に伴う国・県からの委嘱状伝達を16名の民生児童委員に對し行いました。併せて、今回の一斉改選に伴い退任される4名の民生児童委員に對し、国からの感謝状を伝達しました。



民生児童委員の一斉改選に伴う国・県からの委嘱状伝達式

のプレーの成果を発揮しようと熱戦が繰り広げられました。大会は、新型コロナウイルス対策を講じて実施されました。

10月30日、西村康稔経済産業大臣が来町され、二ツ沼総合公園の国産バナナ栽培事業では、産総研の地下水を使った熱交換システム（地中熱）を活用した再生エネルギー事業の取り組みを視察し、国産バナナ「綺麗」のご試食をされました。大臣より、広野町のバナナ事業の展望を捉え、交流人口の拡大、チャレンジが風評被害払拭、再生可能エネルギーの推進につながることを期待するとのお言葉を頂きました。

11月6日、Jヴィレッジスタジアムにおいて、いわきFC vs 鹿兒島ユナイテッド戦が約5,000人のサポーターを迎え、J3優勝に向けた世紀の一戦が行われました。いわきFCは見事勝利し、J3優勝、J2昇格の快挙を果たしました。試合後、ホームタウンとして勝利を祝い、いわきFCの奮闘並びにJFアカデミー福島出身者選手を称え、広野産特別栽培米180kgをプレゼント致しました。ご来場の皆様に祝福メッセージをお伝えしました。



広野町いわきFC応援デー

11月20日、いわきFC vs YSCC横浜戦では、「広野町いわきFC応援デー」として、企業版ふるさと納税で寄付頂いた資金を活用し、広野町民300名を無料招待しました。その他、限定グッズの配布や特産品の販売ブースを設置し、来場者に向けて再生可能エネルギー、移住・定住の推進など、広野町の魅力をPRしました。

11月29日、竹谷とし子復興副大臣が来町され、広野IGCC、二ツ沼総合公園国産バナナ栽培、文化交流施設ひろの未来館をご視察されました。福島イノベや復興のシンボルとなる各事業を通して地域の魅力を図り、広野町の先進事例が地域をリードし、第二期復興創生期間の前進に期待し、福島復興の後押しとなるのお言葉を頂きました。

11月29日、竹谷とし子復興副大臣が来町され、広野IGCC、二ツ沼総合公園国産バナナ栽培、文化交流施設ひろの未来館をご視察されました。福島イノベや復興のシンボルとなる各事業を通して地域の魅力を図り、広野町の先進事例が地域をリードし、第二期復興創生期間の前進に期待し、福島復興の後押しとなるのお言葉を頂きました。



秋まつり参加者へのマイナンバーカード周知活動

マイナンバーカード普及促進事業は、申請受付等の機会を増やすため、毎週火曜日午後7時まで窓口時間を延長し、申請業務委託によりスタッフの増員を図りながら、毎月2回日曜日の役場開庁、11月には町内8箇所の地区集会所での出張申請に加え、12月以降はマイナンバーカード未申請者を対象に、自宅訪問サービスを展開しています。

令和4年12月4日現在、本町におけるマイナンバーカードの申請率は、69.8%であり、県平均は63.4%、全国平均は

こども家庭課

10月1日、昨年に引き続き、多くの子どもたちにインフルエンザ予防接種を受けていただくため、接種費用全額補助の申請受付を開始しました。11月末現在の申請件数は、76件となっています。

11月8日、広野こども園にお

健康福祉課

12月5日、民生児童委員の一斉改選に伴う国・県からの委嘱状伝達を16名の民生児童委員に對し行いました。併せて、今回の一斉改選に伴い退任される4名の民生児童委員に對し、国からの感謝状を伝達しました。



民生児童委員の一斉改選に伴う国・県からの委嘱状伝達式



共同声明を行った遠藤町長(左)と山本市長(右)

山本実市長を迎え、第25回ひろの童謡まつり音楽祭が、童謡夢大使 真理ヨシ子様ほか、日本童謡協会所属の歌手の皆様、広野こども園の園児、広野小・中学校の児童・生徒、ふたば未来学園、合唱団めじろたちの出演者、約600名の来場者のもと4年ぶりに開催いたしました。

音楽祭では、兵庫県たつの市と広野町が、童謡文化の振興のため、それぞれで生まれた童謡を歌い継ぐとともに、新しい童謡を創生することを共同で目指す「日本一の童謡の里づくりのまち」共同声明を行い、両市町の交流をより一層推進させることを確認いたしました。

10月16日、秋季広野町長杯パークゴルフ大会レッドカップが開催され、町内外から約150名の参加者のもと、日頃